

『PCA会計hyper 債権・債務管理オプション』 バージョン1.0、リビジョン5.00 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

HOS210405

※『PCA Client-API』や他のカスタマイズ(アドオン)プログラムをご利用のお客様は、アップデート後のカスタマイズプログラムの動作への影響について、事前にご確認ください。

動作に問題ないことを確認後、アップデートを実行してください。

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

※ご利用のシステムにより、一部ご利用になれない機能があります。

◇帳票の列幅保存機能

1つの項目の列幅を画面いっぱいに広げてしまうと、列幅を小さくできなくなることがあります。

その時は、次の操作をすれば列幅を初期状態に戻すことができます。

照会画面のタイトル欄にマウスカーソルを移動して右クリックします。「列幅を初期設定に戻す」というメニューが表示されますので、それを選択します。

【ご注意】

すべての列を初期状態に戻します。また、「初期状態」とは、プログラム内部で定めた列幅を指します。処理起動中の列幅(前回までの列幅)を指すわけではありません。

◇条件指示項目追加

「請求先元帳」「支払先元帳」において、「主部門」を条件指示項目として指定できるようになりました。

◇「支払確定」処理出力項目追加

「支払確定」において、「支払合計額」を出力できるようになりました。

◇「債権一覧表」「債務一覧表」の部門ロック・勘定科目ロック対応

「債権一覧表」「債務一覧表」において参照ロックされている部門、または勘定科目が使われている伝票を集計対象外とする対応を行いました。

◇「休日カレンダー」の休日変更

「令和3年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会特別措置法」に基づき、令和3年(2021年)における下記休日の変更を行いました。

・海の日:7月22日

・スポーツの日:7月23日

・山の日:8月8日

※なお、8月9日は登録済みルールにより振替休日となります。

※登録済みカレンダーに対する変更された祝日の扱い

変更された祝日(祝日ルール)は、登録済みカレンダーにおいては休日と見なされます。

したがって、「すべての祝祭日等を使用する」のチェックマークを外して登録したカレンダーでも、追加された祝日(祝日ルール)が休日となっていますので、休日にしないのであればカレンダーを修正してください。

以上